

歴史に刻まれたひとつの節目は、新たな旅立ちへのスタートライン。
東北大学100周年記念事業

2007年夏、創立100年を祝う

東北大学は、2007年6月に創立100周年を迎えた。これを記念して、2007年8月27日、国内はもとより海外20カ国の来賓が出席するなか、仙台国際センターで「東北大学100周年記念式典」を開催した。

また、8月25・26日の2日間、片平キャンパスに延べ約27,000人の市民を迎えて、「東北大学100周年記念まつり」を開催し、コンサートや各種講演会をはじめ、全

学の学部・研究所等の研究紹介ゾーン、国際交流ゾーン、地域交流ゾーンを設けて本学の歩みや現状を紹介しながら、共に100周年を祝った。

このほか、100周年記念展示(江戸東京博物館、仙台市博物館) 市民コンサートなど創立100周年を記念する様々なイベントを2007年夏に開催した。



100周年記念式典



100周年記念まつり



学章・スクールカラーの制定式



100周年記念祝賀会



市民コンサート



100周年記念特別展「文豪・夏目漱石」(江戸東京博物館)



100周年記念展示(仙台市博物館)

「第1回ホームカミングデー」開催

東北大学では、毎年決まった時期に、卒業生に母校へ帰ってきてもらい、大学の現状を紹介するとともに、恩師や同窓生との再会、あるいは在校生との交流を深めてもらうと、「ホームカミングデー」を創設した。

第1回は、2007年10月6・7日の2日間、100周年記念仙



第1回「青春のエッセー-阿部次郎記念賞」授賞式

台セミナー、第1回「青春のエッセー 阿部次郎記念賞」授賞式、在校生と卒業生との親睦会など様々なイベントや学内キャンパスツアーなどを企画し、多くの卒業生が家族連れで訪れた。



「在校生と卒業生との懇親会」先輩の話を聞こう

「東北大学校友会」を発足

2007年10月に開催した東北大学全学同窓会総会で、「東北大学校友会」の発足が承認された。

本会は創立100周年を契機として、東北大学全学同窓会を発展的改組して設立されたもので、卒業生に加えて在校生、現旧の教職員、在校生の保護者等東北大学関係者を会員として、活動を展開していく。



東北大学全学同窓会総会

「東北大学基金」創設

東北大学は、創立100周年記念事業の一環として、財団法人東北大学研究教育振興財団が主体で行ってきた100周年記念事業募金の一部を原資に、「東北大学基金」を2008年4月に創設した。今後この基金は、将来にわたって拡大・安定するよう運用し、教育研究の環境整備や奨学金等学生支援の充実などに活用され、東北大学が「世界リーディング・ユニバーシティ」へとさらに発展していく基盤となる。



基金創設資金の感謝状贈呈